

愛媛県立中央病院整備運営事業
要求水準書

第2 要求水準 1 施設整備業務

別添1：諸室リスト（案）

平成18年12月
愛媛県

愛媛県立中央病院整備運営事業 諸室リスト

<目次>

部門		ページ番号
ア	外来部門	1
イ	病棟部門	4
ウ	救命救急センター	6
エ	総合周産期母子医療センター	7
オ	手術部門	8
カ	ICU部門	9
キ	検査部門	10
ク	放射線部門	12
ケ	内視鏡部門	14
コ	薬剤部門	15
サ	リハビリテーション部門	16
シ	人工透析部門	17
ス	東洋医学部門	18
セ	栄養給食部門	19
ソ	中央材料部門	20
タ	ME管理部門	21
チ	管理運営部門	22
ツ	人間ドック部門	23
テ	医療情報部門	24
ト	医局部門	25
ナ	看護管理部門	26
ニ	物品管理部門	27
ヌ	利便施設	28

※諸室リストの考え方

- 1 診療機能上の部門、分類ごとに構成要素を示しているが、諸室の配置計画を拘束するものではない。提案にあたっては、効率的な運営・維持管理の考え方等を踏まえた上で、提案されることを期待する。事業者は、設計段階において諸室に関する性能、機能、数量、位置等について、県の意見を聞き、協議・調整の上で計画を進めるものとする。
- 2 室数欄に諸室の必要数を示す。「適数」とある場合は、事業者の適切な判断によりその諸室を1以上計画するものとする。
- 3 想定面積欄に壁芯で計算した県が概ね必要と考える面積を示す。「適宜」とある場合は、要求水準書に示す性能を満たすよう事業者が適切に計画するものとする。また【 】内面積は共用部分(廊下、EV、DS等)を含まない部門別想定面積を示す。
- 4 廊下、階段、DS・PS、昇降機スペースなどの共用部分は、計画の考え方によりその必要室数や必要面積が変化するものと考えられるため、記載していない。

諸室リスト: 外来部門

区分	名称	設 定			摘 要	概要 シート No.
		室数	想定面積 (㎡/ (㎡))			
診察室等		外来診療部全体		[3,540]	・可能な限り、フリーアドレスの導入を検討する。原則として各診察室には洗面化粧台、患者呼出システムを設置する。医療用コンセント、情報(HIS)アウトレット等を設置する。	
総合診療科						
	診察室	6	12	72		
	処置室	1	12	12	・各処置ベッド頭部に壁付医療ガス(酸素、吸引)、医療用コンセント、ナースコールを設置する。	
血液腫瘍科						
	診察室	2	12	24		
糖尿病内科						
	診察室	3	12	36		
	糖尿病内科生活指導室	1	8	8		
腎臓ユニット						
	診察室	5	12	60		
	処置室	1	12	12	・各処置ベッド頭部に壁付医療ガス(酸素、吸引)、医療用コンセント、ナースコールを設置する。	
	膀胱鏡検査室	1	12	12	・給排水設備を設ける。	
	結石破砕室	1	32	32		
	尿流検査室	1	4	4		
産科						
	診察室	3	12	36		
	内診室	3	9	27	・診察室横に内診室を設ける。プライバシーに配慮した計画とする。	
	処置室	1	12	12	・各処置ベッド頭部に壁付医療ガス(酸素、吸引)、医療用コンセント、ナースコールを設置する。	
	NST	1	12	12	・NST(ノンストレステスト)検査を行う。	
	妊産婦指導室	1	12	12		
	育児支援外来診察室	1	12	12		
	授乳室	1	12	12		
婦人科						
	診察室	2	12	24	・診察室横に内診室を設ける。プライバシーに配慮した計画とする。	
	内診室	2	9	18		
心臓ユニット						
	診察室	5	12	60		
	処置室	1	12	12	・呼吸器外科と共用。各処置ベッド頭部に壁付医療ガス(酸素、吸引)、医療用コンセント、ナースコールを設置する。	
消化器ユニット					・内視鏡検査部門に近接しスタッフの効率的な動線を確保する。	
	診察室	6	12	72		
	処置室	1	12	12	・各処置ベッド頭部に壁付医療ガス(酸素、吸引)、医療用コンセント、ナースコールを設置する。	
乳腺甲状腺外科						
	診察室	1	12	12		
	処置室(エコー)	1	12	12	・エコーを設置	
呼吸器外科						
	診察室	1	12	12		
	処置室	1	12	12	・心臓ユニットと共用 ・各処置ベッド頭部に壁付医療ガス(酸素、吸引)、医療用コンセント、ナースコールを設置する。	
呼吸器内科						
	診察室	2	12	24	・アレルギー科と共用	
精神科						
	診察室	2	12	24		
	観察室	1	22	22		
	専用待合室	1	31	31		
小児医療					・感染や騒音に配慮し、一般患者の通行の少ない位置に配置する。	
	新生児診察室	2	12	24		
	小児科診察室	4	12	48	・救急診察室も兼ねる。	
	小児外科診察室	1	12	12		
	プレイコーナー		(適宜)		・ブロック受付に面してプレイコーナーを設置する。	
	授乳室/オムツ換えコーナー	1	16	16	・授乳室には、流し台、ベビーベッド、ベンチを設置する。プライバシーに配慮した計画とする。オムツ換えコーナーには、小児用ベッドを設置する。	
	小児点滴処置室	1	32	32	・点滴用と感染児用合計6ベット設置する。	
	小児採血室	1	16	16	・検査部への検体搬送手段を確保	
	小児外科処置室	1	12	12	・各処置ベッド頭部に壁付医療ガス(酸素、吸引)、医療用コンセント、ナースコールを設置する。	
隔離診察室					・陽陰圧切替可能な空調とする。専用トイレを設ける。小児科外来に隣接し、外部から直接利用しやすい位置に設ける。	
	前室	1	16	16		
救急外来					・救命救急センター部門を参照	
麻酔科						
	診察室	2	12	24	・各処置ベッドにナースコールを設置する。	
	処置室	1	42	42	・8ベッド程度。各処置ベッド頭部に壁付医療ガス(酸素、吸引)、医療用コンセント、ナースコールを設置する。	

諸室リスト: 外来部門

区分	名称	設定		概要	概要シート No.
		室数	想定面積 (㎡/ (㎡)		
整形外科	診察室	5	15	75	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外来患者がエントランスから利用しやすい位置に設ける。 ・ 各処置ベッド頭部に壁付医療ガス(酸素、吸引)、医療用コンセント、ナースコールを設置する。 ・ 流し付作業台はプラスタートラップ付、汚物流しを設置する。
	処置室	1	30	30	
	ギプス室	1	30	30	
耳鼻咽喉科	診察室	3	12	36	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネブライザーコーナーを設ける。
	耳鼻科処置室	1	12	12	
	平衡感覚検査室	1	16	16	
	聴力検査室	1	16	16	
形成外科	診察室	2	12	24	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各処置ベッド頭部に壁付医療ガス(酸素、吸引)、医療用コンセント、ナースコールを設置する。
	処置室	1	24	24	
皮膚科	診察室	2	12	24	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各処置ベッド頭部に壁付医療ガス(酸素、吸引)、医療用コンセント、ナースコールを設置する。
	処置室	1	12	12	
放射線科	診察室	1	16	16	
	読影室	1	42	42	
	画像解析室	1	20	20	
脳神経ユニット	診察室	5	12	60	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各処置ベッド頭部に壁付医療ガス(酸素、吸引)、医療用コンセント、ナースコールを設置する。
	処置室	1	12	12	
眼科	診察室	4	12	48	
	視力検査室(明室)	1	34	34	
	レーザー・暗室検査室	1	26	26	
	小児検査室	1	6	6	
	low vision検査指導室(視能訓練)	1	8	8	
	暗室	1	17	17	
	絶対暗室	1	6	6	
	処置室(明室)	1	16	16	
歯科	診察室	1	95	95	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各処置ベッド頭部に壁付医療ガス(酸素、吸引)、医療用コンセント、ナースコールを設置する。 ・ 防音、消音・減音措置を講じる。 ・ 診察台5台、下記のレントゲン室、歯科技工室、器材室も含める。 ・ プラスタートラップを設ける。
	レントゲン室				
	歯科技工室				
	器材室				
リハビリテーション科	セカンドオペニオン外来診察室	1	12	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ リハビリテーション部に設ける。(リハビリ部参照)
外来診療共用部					
共通内容					
	ブロック待合			(適宜)	<ul style="list-style-type: none"> ・ プライバシーや感染対策に配慮し一般廊下と待合スペースを分離する。各待合に緊急対応用医療ガス(酸素・吸引)を設置する。
	ブロック受付			(適宜)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各診療科構成、診察室ブース数を配慮し適宜ブロック受付を配置する。
	説明室			(適宜)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブロック待合に面して説明室を設置する。プライバシーに配慮した計画とする。情報(HIS)アウトレットを設置する。
	作業通路			(適宜)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブロック受付と各診察室を連絡するスタッフ専用通路を設ける。流し付作業台(上部吊戸棚)、汚物流しを設置する。処置室、点滴室のナースコール親機を設置する。
	スタッフ休憩室			(適宜)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外来1ブロックに一つの割合でスタッフ休憩室(トイレを設ける)を設ける。
	中央処置室	1	130	130	
	採血採尿室			【134】	
	中央採血室	1	90	90	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外来患者にわかりやすい位置とし動線距離に配慮する。
	中央採尿室	2	22	44	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外来患者にわかりやすい位置とし動線距離に配慮する。
外来化学療法室					
	治療室	1	250	250	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専用待合面積を含む ・ 処置用ベッド20床分確保。各処置ベッド頭部に壁付医療ガス(酸素、吸引)、医療用コンセント、ナースコールを設置する。 ・ ウィッグや下着の装着などプライバシーが確保できるよう配慮する。
	専用待合室	1	45	45	
	受付			(適宜)	
	相談室			(適宜)	
	がん相談支援室			(適宜)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内視鏡部門参照(読影室兼カンファレンス室を仕切って使用する)
	薬品準備室			(適宜)	
	トイレ			(適宜)	

諸室リスト: 外来部門

区分	名称	設 定		概要 No.
		室数	想定面積 (m ² /m ²)	
その他共用部				
	玄関ホール(ロビー)		600	・ 外来者のアメニティに配慮する。吹抜を設ける。医療ガス設備を設ける。
	総合受付カウンター	1	40	
	医事課(外来)	1	90	
	医事課(入院)	1	80	・ 入院受付含む
	入院受付		(適宜)	
	銀行		(適宜)	・ 支払い窓口含む。利便施設を参照
	ATMコーナー		(適宜)	・ 利便施設を参照
	地域医療連携室	1	90	・ 医療相談室含む
	母親教室・育児教室			・ 3号館1階各種教室を使用する。
	栄養指導室			
	個別栄養指導室	2	8	・ 糖尿病内科の近くに配置する。
	集団栄養指導室			・ 3号館1階各種教室を使用する。
	臨床心理室	2	23	・ 箱庭療法ができる広さを確保。前室を設ける。
	外来カンファレンス室	1	45	・ 病理所見会室と共用
	トイレ		(適宜)	・ 患者用トイレには多目的トイレ(車椅子、オストメイト、乳幼児等への対応を考慮)を適宜設ける。
	車椅子、ストレッチャー置き場		(適宜)	

諸室リスト: 病棟部門

区分	名称	設定		概要	概要シート No.
		室数	想定面積 (m ²)		
一般病棟(標準)		病棟基準階面積 [3,130]		<ul style="list-style-type: none"> 1看護あたり50床以下とし、1フロア2看護構成とする。特記なき限り室面積および室数は標準的な1看護単位を示す。病棟構成は別紙。 各ベッドに医療用コンセント、一般コンセント、ナースコール、読書灯、処置灯を設ける。医療ガス(酸素・吸引)は各ベッドに1箇所設置する。 前室部分にトイレ、洗面カウンターを設ける。1床あたり8.0m以上を確保する。 洗面カウンター、ユニットシャワートイレを設ける。 	
病室					
	4床室	9	45	408	<ul style="list-style-type: none"> 放射線シールドを行う。12階病棟に配置。
	個室	14	23	318	
	放射線治療病室	1	23	23	
共用部				0	
	デイルーム兼食堂	1	45	45	<ul style="list-style-type: none"> 1床あたり0.5m以上とし、2病棟分合わせて90m²のスペースとする(病棟特性に応じて分割可能)。配膳専用エレベーターを利用しやすい位置に設ける。自動販売機コーナーを設ける。
	スタッフステーション	1	57	57	<ul style="list-style-type: none"> オープンカウンター形式としスタッフの執務環境に配慮した計画とする。
	面談室	2	8	15	<ul style="list-style-type: none"> プライバシーに配慮する。1看護単位に2箇所設ける。情報(HIS)を設ける。
	処置・観察室	1	24	24	<ul style="list-style-type: none"> スタッフステーションと隣接した位置に設ける。
	汚物処理室	1	14	14	<ul style="list-style-type: none"> 流し付作業台、汚物流しを設ける。
	浴室	1	14	14	<ul style="list-style-type: none"> 車椅子やストレッチャーでの利用可能な計画とする。脱衣場含む
	脱衣室	1		(適宜)	
	洗濯室	1	8	8	<ul style="list-style-type: none"> 患者が利用するコインランドリー(洗濯機、乾燥機、流し台)を設ける。
	スタッフ用トイレ	1	16	16	
	器材室	1	14	14	
	カンファレンスルーム	1	15	15	<ul style="list-style-type: none"> スタッフステーションから利用しやすい位置に設置。学生実習室と分離・共用する。
	実習生控室	1	15	15	<ul style="list-style-type: none"> カンファレンス室との間はアコーディオンカーテンとし、広く使用可能とする。
	スタッフ休憩室	1	23	23	<ul style="list-style-type: none"> スタッフステーションから利用しやすい位置に設ける。居住環境に配慮する。
	スタッフ仮眠室	1		(適宜)	<ul style="list-style-type: none"> スタッフステーションから利用しやすい位置に設ける。
	看護長室(師長室)	1	6	6	
	薬剤調整コーナー			(適宜)	<ul style="list-style-type: none"> 血液腫瘍科病棟にはクリーンベンチを設置する。
	記録コーナー			(適宜)	<ul style="list-style-type: none"> 電子カルテ・オーダーリング用、スタッフステーション内に設ける。
	車椅子対応トイレ			(適宜)	<ul style="list-style-type: none"> 消化器病棟はオストメイト対応とする。
	SPD・診療材料コーナー			(適宜)	<ul style="list-style-type: none"> 看護動線を効率よくするため病室近くにリネン類の保管庫を設ける。
	ストレッチャー・車椅子置場			(適宜)	<ul style="list-style-type: none"> エレベーターホールに近い位置に設ける。上部収納棚とする。
	マット清拭コーナー			(適宜)	<ul style="list-style-type: none"> 患者退院の際に、ベッドを病室から搬出し、マットを清拭するコーナーを設ける。
	特殊浴室	1	23	23	<ul style="list-style-type: none"> 1フロアに1箇所機械式浴槽を設ける。脱衣室を含めた面積
	脱衣室			(適宜)	<ul style="list-style-type: none"> 車椅子に配慮した計画とする。
	大型器材室	1	23	23	<ul style="list-style-type: none"> 1フロアに1箇所、小器材室とは別に確保する。
小児病棟					
	個室	10	23	227	
	4床室	5	45	227	
	HCU	1	60	60	<ul style="list-style-type: none"> 前室、器材室を含む
	プレイルーム	1	32	32	
	院内学級	1	32	32	<ul style="list-style-type: none"> 教職員室を含む
	看護長室(師長室)	1	6	6	
	処置室	1	34	34	
	学生実習・カンファレンス室	1	31	31	
	小児科医師控室	1	45	45	
	ナース休憩室	1	23	23	
	仮眠室	1	8	8	
	汚物処理室	1	14	14	
	浴室・脱衣	1	23	23	
	洗濯室	1	14	14	
	説明室	2	8	16	
	器材室	1	14	14	
	多目的トイレ			(適宜)	<ul style="list-style-type: none"> 親子での入室、オムツ交換が可能なスペース、設備を設ける。
血液腫瘍科					<ul style="list-style-type: none"> 12階をがん病棟とし、12階に配置する。
	無菌室	4	23	91	<ul style="list-style-type: none"> 前室、トイレ、手洗い設備を設ける。家族用の面会通路を設ける。空調無菌ユニット(アイソレーター)を設ける。クラスⅠとする。
	準無菌室	20	23	454	<ul style="list-style-type: none"> 前室、トイレ、手洗い設備を設ける。空調無菌ユニット(アイソレーター)を設ける。クラスⅡとする。
眼科					
	診察室・光線力学的療法室	1	23	23	<ul style="list-style-type: none"> 暗室
耳鼻咽喉科					
	処置室	1	23	23	<ul style="list-style-type: none"> ネブライザーユニット、処置用ベッド、処置用顕微鏡などを常設する広さ。
呼吸器ユニット(呼吸器内科)					
	モニター室	1	12	12	<ul style="list-style-type: none"> 個室横に1箇所設ける。(睡眠時無呼吸症候群患者モニター)

諸室リスト: 病棟部門

区分	名称	設 定		摘 要	概要 シート No.
		室数	想定面積 (m ² / (m ²))		
感染症病棟					
	2類感染症 個室	3	23	68	・ 7階に結核病棟、感染症病棟、皮膚科とともに配置する。
	結核病棟				・ 20床とし、病棟入口に扉を設け病棟全体での陰圧管理を行う。
	4床室	3	45	135	
	個室	8	23	181	・ うち2床をHIV治療病室として使用する。
	談話室	1	23	23	
	浴室	1	23	23	・ 脱衣室含む。
	脱衣室			(適宜)	
	更衣室			(適宜)	
	小児感染症 個室	3	23	68	・ 7階感染症病棟において、結核病室を転用して増床の可能性あり。
腎臓ユニット・糖尿病・内分泌内科病棟					
	個室	10	23	227	・ 6階、人工透析室も同じフロアに配置。1病棟43床
	4床室	8	45	362	
	特別個室	2	45	91	・ ベッドルームと別に前室(応接)を設ける。洗面カウンター、ユニットバス、トイレ、ミニキッチンを設置する。6階に2室設ける。
	指導室・カンファ・実習室	1	45	45	
	器材室	1	14	14	
	汚物処理室	1	14	14	
	浴室	1	14	14	
	処置室1	1	24	24	
	処置室2	1	16	16	
	スタッフ用トイレ	1	24	24	
	看護長室(師長室)	1	6	6	
	特別浴室	1	23	23	・ 1フロアに一箇所、脱衣室含む。
	大型器材室	1	23	23	・ 1フロアに一箇所設ける。
婦人科					
	婦人科診察室	1	23	23	

諸室リスト:救命救急センター

区分	名称	設 定		概要 シート No.	
		室数	想定面積 (㎡/ (㎡)		
救命救急センター				・ 救命救急センター外来、病棟(ICU,HCU)による構成とする。救急専用エレベーターにより救命救急センター外来と同病棟および手術部門を連絡する。	
救命救急センター外来			【670】	・ 1次、2次救急と3次(救急車)の出入口をそれぞれ設け、守衛室による24時間監視を行う。画像診断部門に隣接させる。	
	救急外来				
	救急診察室	9	12	108	・ 出入口近くに患者スクリーニングを行う場所を確保する。
	処置室	1	12	12	・ 各処置ベッド頭部に壁付医療ガス(酸素、吸引)、医療用コンセント、ナースコールを設置する。
	その他				・ (防災センターは管理運営部門に再掲)
	守衛室・受付(防災センター)	1	45	45	・ 24時間出入監視および救急患者の受入れ時の車両誘導を行う。
	シャワー除染室	1	22	22	・ 3次救急出入口に面して流水による除染を行う洗体室を設ける。
	初療室(1)	1	65	65	・ 医療ガス(酸素・吸引・圧縮空気・窒素)を設ける。天井付无影灯を設ける。CTアンギオを設置可能なスペースとシールドとを確保する。
	初療室(2)	1	43	43	・ 医療ガス(酸素・吸引・圧縮空気・窒素)を設ける。天井付无影灯を設ける。
	医師控室	1	32	32	
	医師仮眠室(男)	1	16	16	
	医師仮眠室(女)	1	12	12	
	トイレ・シャワー	1	11	11	
	説明室	2	7	13	
	観察室(10ベッド)	1	90	90	・ 点滴室兼用とし医療ガス(酸素・吸引)、医療コンセント、ナースコール設備を設ける。
	スタッフコーナー	1	22	22	・ 観察室の中央部にスタッフスペースを設ける。(HIS,各種モニター配線)
	スタッフ休憩室	1	14	14	
	看護師当直室	1	8	8	
	器材庫	2	14	28	
	薬品庫			(適宜)	
	医事課・防災当直室	4	8	32	
	シャワー室	1	6	6	・ 医事課・防災当直用
救命救急センターICU					・ カ ICU部門を参照
救命救急センターHCU					・ カ ICU部門を参照

諸室リスト:総合周産期母子医療センター

区分	名称	設 定		概要	概要シート No.
		室数	想定面積 (㎡/ (㎡)		
産科部門				[2,500]	
MFICU					
	MFICU	9	22	198	・ 全室個室とし、クラスⅡとする。
	スタッフステーション	1	67	67	
後方病棟					
	個室	8	22	176	・ 洗面カウンター、ユニットシャワートイレを設ける。母子同室とする。
	4床室	5	45	225	・ 前室部分にトイレ、洗面カウンターを設ける。1床あたり8.0㎡以上を確保する。母子同室とする。
	スタッフステーション	1	84	84	
分娩・手術					
	分娩室	1	36	36	・ クラスⅢとする。防音性能に配慮する。近くにトイレ、浴室を設置する。
	LDR室	6	36	216	・ クラスⅢとする。プライバシーに配慮する。モニターや超音波検査装置が配置されるスペースを確保する。
	LDR用リネン室	3	15	45	
	産科手術室	1	45	45	・ クラスⅡとする。防音性能に配慮する。
	手術準備室	1	11	11	
	蘇生室	1	11	11	・ 産科手術室、分娩室の近くに配置する。独立して温度調節可能とし、湿度は60%を確保する。
	家族控室	1	14	14	
	緊急診察室	1	23	23	
	産科医師控室	1	45	45	
	看護長室	1	6	6	
	ナース控室	1	45	45	・ 分娩部・後方共用
	説明室	2	7	14	
共用部					
	ダイルーム	1	45	45	・ 食堂としては設置しない。
	処置室	1	13	13	・ 後方病棟分
	説明室	2	11	22	
	保健指導室	1	19	19	
	授乳室	1	22	22	
	汚物処理室	1	13	13	
	検診室	1	6	6	・ 後方病棟分
	沐浴室	1	14	14	
	リネン・器材室	1	45	45	・ 後方病棟分
	脱衣室	1	11	11	後方病棟分
	浴室	1	22	22	
	トイレ	2	11	22	・ 男女別
新生児部門				[2,500]	
新生児病室					
	NICU(12)	1	173	173	・ NICU15床とNHCU/GCU30床により構成する。
	超未熟児用NICU(3)	1	43	43	・ クラスⅢ。超低出生体重児用として12床設ける。1床あたり12㎡以上とする。
	NHCU/GCU(30)	1	259	259	・ クラスⅡ。急速な温度調節が可能なNICU3床を設ける。
	感染症用隔離室	1	32	32	・ クラスⅡ。前室を設け陽陰圧制御可能なハイリスク新生児の隔離室を設ける。
共用部					
	受付・スタッフステーション	1	65	65	・ オープンカウンター形式とし病室の中央部に配置する。
	ファミリーケア室	1	23	23	・ 看取り時や在宅医療必要患者の家族説明、指導等に使用する。
	面会廊下	1	(適宜)	(適宜)	・ NICU・NHCU/GCUに隣接した家族用面会廊下を設ける。
	新生児手術室	1	25	25	・ 低出生体重児の手術、処置を行う。
	眼科処置室	1	12	12	・ 暗室対応、3相200V電源を設ける。
	透視検査室	1	12	12	
	生理検査室	1	12	12	・ シールドルームとする。脳波、ABR、ポリグラフ等の検査を行う。
	検査室	1	8	8	・ 血液ガス、電解質等を中心とする緊急検査を行う。
	授乳室	1	40	40	
	面接室	2	8	17	
	薬品調整室	1	11	11	・ NICUとNHCU/GCUの中間場所に設ける。
	不潔物	1	11	11	
	調乳室	1	25	25	
	器材庫	1	72	72	・ ホルマリン消毒器を設ける。医ガス設備を設ける。
	リネン室	1	30	30	
	沐浴室	1	22	22	・ 沐浴槽4台を設ける。
	洗浄室	1	24	24	
	ナース休憩室	1	29	29	
	新生児科医師控室	1	36	36	
	家族面会室	1	35	35	・ モニター面会、ロッカーを含む
	スタッフ用トイレ		(適宜)	(適宜)	・ 男女別
総合周産期共用部				[100]	
共用部					
	カンファレンス・学生実習室	1	47	47	
	当直室	4	8	32	・ 産科2、新生児科2
	シャワー室	2	6	12	
	周産期医療情報センター室	1	22	22	・ 周産期情報センター用サーバーを病棟内に設ける。

諸室リスト:手術部門

区分	名称	設定		概要	概要シート No.
		室数	想定面積 (m ²)		
中央手術部門				[3,300]	
手術室	緊急	1	90	90	・原則的に各室に術野モニターと各室全景モニターを設ける。床はワックスフリーとする。
	前室(緊急)	1	11	11	・原則的に各室または2室に1箇所配盤室を設ける。
	一般	5	65	324	・クラスIIとする。心臓血管外科、脳神経外科、整形外科など全てに対応する。手術室入口に設け救急部門との連絡に配慮する。前室を設け陽陰圧調節可能な感染症対応とする。
	内視鏡共用ほか器材室	1	86	86	・手洗い設置
	耳鼻科・形成外科	1	65	65	・クラスIIとする。中型、手術用顕微鏡、内視鏡を常置。レーザー対応。
	眼科	1	65	65	・クラスIIとする。中型、眼科用機器を常置する。
	心臓外科	1	97	97	・クラスIIとする。大型、心臓血管外科専用機器を常置。
	前室(心外)	1	22	22	
	器材室(心外)	1	11	11	
	再生医療用準備室	1	11	11	
	アンギオ	1	97	97	・クラスIIとする。大型、心外・脳外用。血管連続撮影装置を常置。
	操作室	1	22	22	・アンギオ手術室に併設し放射線防護窓を設ける。
	前室(アンギオ)	1	22	22	
	整形外科BCR	1	97	97	・クラスIとする。大型、整形外科専用機器を常置。
	前室(整形外科)	1	22	22	・手洗い設置
	器材室(整形外科)	1	32	32	
	脳外科BCR	1	65	65	・クラスIとする。脳神経外科専用機器を常置。手術用顕微鏡、内視鏡を常置。
	前室(脳外)	1	22	22	・手洗い設置
	外来・局麻用(デイスージェリー)	3	49	147	・クラスII、小型。1室はレーザー対応。皮膚科・形成外科、耳鼻科使用。
共用部					
前室1ホール	1	60	60	・術中患者のベッドを一時的に保管する。	
前室2ホール	1	43	43	・リカバリールームと隣接、申し送りコーナーを設ける。	
手術ホール			(適宜)		
リカバリー室	1	90	90	・6床とするが、将来的に10床に拡張することを考慮する。 ・麻酔導入室としても使用するため医療ガス(酸素、吸引、窒素、空気)、医療用コンセント、各種モニター配管を設ける。	
準備室	適数	16		・各手術室入口又は手術室2室に1箇所設け配盤作業などを行う。	
手洗いコーナー	適数	5		・3人槽を手術室2~3室に1箇所設ける。	
検査室・緊急減菌室	1	11	11	・血ガス検査、緊急減菌として使用する。水廻り設備を設ける。	
標本処理室・切出室	1	12	12	・回収廊下に面して設ける。水廻り設備を設ける。パーテーションで2つに分ける。	
回収廊下			(適宜)	・中央手術部門の外周に設け回収用エレベーターにより中央材料部に連絡する。使用済器材、廃棄物、清掃職員などの動線として使用する。	
汚物室	1	11	11	・回収用エレベーターに近接して設ける。	
モニター説明室	2	15	30	・患者家族モニター説明用に情報用端末を設置する。	
麻酔準備室	1	30	30	・麻酔カートの保管、各種麻酔回路、器具の保管を行う。	
医薬品保管室	1	11	11		
リネン室	1	20	20		
医用材料室・クリーンサプライ室	1	148	148	・診療材料を保管する。中央材料部からの供給エレベーターに近接する。	
搬入器材室	1	6	6		
管理部					
手術部受付・事務室	1	11	11	・手術部門入室時に必ず通過する計画とする。	
看護長室(師長室)	1	6	6		
スタッフステーション	1	32	32	・手術室モニターを設ける	
画像集積室	1	43	43	・全手術室の生体情報や画像データが集積、手術状況の監視・管理を行う。	
画像処理室	1	6	6	・画像読取装置を設置。	
カンファレンス室	1	70	70	・ICUと共用。手術室モニターを設置する。パーテーションなどで仕切れる構造とする。	
麻酔科医師控室	1	43	43	・術野、室モニターを設ける。	
手術部管理室	1	36	36	・小会議室、来客用応接として使用する。	
当直室(麻酔科)	2	8	16		
当直室(看護師)	2	8	16		
シャワー室	1	6	6		
更衣室	2	100	200	・男女別、シャワー室・トイレ併設とし、各100名分を確保する。	
休憩室	1	60	60		
看護師仮眠室	1	30	30		
コメディカル控室	1	30	30	・清掃員、外部委託業者等の待機、休憩に使用する。	
デイスージェリー部門					
診察室	1	11	11	・原則的に各室に術野モニターと各室全景モニターを設ける。	
リカバリー	1	23	23	・リクライニングシートを想定(ステップダウンリカバリー)	
患者更衣室	2	8	16		
器材室	1	23	23		
汚物処理室	1	11	11		
トイレ	2	11	22		

諸室リスト:ICU部門

区分	名称	設 定		概要 シート No.
		室数	想定面積 (㎡)	
ICU			【1,230】	・救命救急センター病棟(ICU,HCU)および手術部と同じフロアーに設ける。病床数は12床とする。床はワックスフリーとする。
病室				
	ICU個室	5	29	144
	ICU個室(前室付)	1	29	29
	ICU準個室	6	29	173
共用部				・救命救急センターICU、HCUなどと一部共用可とする。
	受付	1	6	6
	看護長室(師長室)	1	6	6
	スタッフステーション	1	90	90
	薬品準備室	1	14	14
	説明室	1	11	11
	カンファレンス			
	画像処理室	1	6	6
	休憩室	1	30	30
	検査室	1	22	11
	汚物処理室	1	14	14
	器材庫	1	32	32
	リネン庫	1	11	11
	当直室	6	8	49
	医師控室	1	43	43
	トイレ			(適宜)
	シャワー室	1	6	6
救命救急センターICU			【700】	・救命救急入院料の基準を満たすものとし、合計10床を設ける。術後ICU部門や救命HCU部門、手術部門との連携に配慮する。床はワックスフリーとする。
病室				・各病室に壁付で医療ガス、医療コンセント、人工透析用配管設備、情報アウトレット、モニター配管を設ける。
	個室(シールドルーム)	1	23	23
	個室(前室付)	1	23	23
	個室(前室付)	1	23	23
	準個室	7	23	159
共用部				・救命HCU、ICUなどと一部共用可とする。
	受付	1	6	6
	看護長室(師長室)	1	6	6
	スタッフステーション	1	61	61
	医師控室(共用)	1	29	29
	薬品準備室	1	11	11
	検査室	1	22	22
	カンファレンス	1	68	68
	画像処理室	1	6	6
	休憩室	1	36	36
	器材庫	1	29	29
	リネン庫	1	14	14
	汚物処理室	1	10	10
	ハーバード浴室	1	23	23
救命救急センターHCU			【770】	・救命救急入院料の基準を満たすものとし、HCU20床を設ける。術後ICU部門や救命ICU部門、手術部門との連携に配慮する。床はワックスフリーとする。
病室				・各病室に壁付で医療ガス、医療コンセント、情報アウトレット、モニター配管を設ける。
	HCU(個室)	15	19	281
	HCU(準個室・5床分)	1	91	91
共用部				・隣り合うベッド間に袖壁を設ける。
	受付	1	6	6
	看護長室(師長室)	1	6	6
	スタッフステーション	1	65	65
	薬品準備室	1	11	11
	検査室	1	7	7
	器材庫	1	22	22
	リネン庫	1	14	14
	汚物処理室	1	10	10
	休憩室	1	36	36
	特殊浴室	1	23	23
ICU/HCU共用			【150】	
共用部				
	ICU部門共用受付	1	14	14
	待合ラウンジ	1	45	45
	説明室	4	11	45
	トイレ	2	14	28

諸室リスト: 検査部門

区分	名称	設 定		概要 シート No.
		室数	想定面積 (㎡/ (㎡)	
検体検査部門				【540】
・ 生化学、血液、一般検査を大部屋方式にて配置、外注及び緊急検査も同一フロアとする。				
検体検査部				
検査室 300				
	血液検査室	1	90	90
	一般検査室	1	36	36
	生化学検査室	1	90	90
	緊急検査室	1	43	43
	外注検査受付	1	22	22
	薬物検査室	1	19	19
	資料室	1	22	22
	サーバー室・検体情報室	1	11	11
	冷凍冷蔵庫・SPDIほか	1	40	40
	相談室	1	6	6
	当直室	2	8	16
	シャワー室	1	6	6
微生物検査室				
				【180】
・ 検査室内面積は参考値とする。				
	エアシャワー室(前室含む)	1	10	10
	PCR室	1	25	25
	検査室	1	22	22
	細菌検査室	1	74	74
	滅菌洗浄室	1	10	10
	標本室	1	9	9
	菌株保存室	1	15	15
	鏡検室	1	15	15
生理機能検査部門				
				【410】
・ 中央採血室、循環器外来、内視鏡検査室の近くに配置し、外来、入院患者双方の動線を考慮する。 スタッフ動線の分離、患者プライバシーに配慮する。				
生理機能検査部				
	受付	1	13	13
	心電図	3	10	30
	ABI/PWV	1	15	15
	呼吸機能検査室	1	15	15
	AST、DLCO	1	15	15
	トレッドミル運動負荷装置室	1	15	15
	CPX検査室	1	15	15
	解析室	1	24	24
	筋電図室	2	15	30
	脳波検査室	2	15	30
	脳波室操作室	1	6	6
	洗髪コーナー	1	3	3
	心臓エコー室	3	6	18
	小児心エコー室	2	6	12
	腹部エコー室	3	6	18
	処置エコー室	1	21	21
	ポータブルエコー室	1	5	5
	所見説明室	3	5	15
	診察室	2	8	16
	患者通路			92
輸血部				
				【120】
・ 救急検査室または検査技師当直室と隣接させる。				
輸血部				
	自己血採血室	1	22	22
	血液照射室	1	6	6
	移植支援室	1	20	20
	輸血検査作業室Ⅰ	1	43	43
	輸血検査作業室Ⅱ	1	31	31
その他の諸室				
				【120】
・ 血液系のPCR検査を行う。				
	PCR	1	36	36
	洗浄室	1	34	34
	検査部カンファレンス室	1	45	45

諸室リスト: 検査部門

区分	名称	設 定		概要 シート No.
		室数	想定面積 (m ² / (m)	
病理検査部門			【350】	
	病理検査部門			・ 術中迅速検査の検体搬送ルートに配慮する。
	診断室	1	28	・ 3名分、パーティションで区切る
	遠隔診断室	1	18	・ 県立病院病理診断センターとして、バーチャルスライド・オートプリーシステムなど設置。
	病理資料室	1	36	
	暗室	1	10	
	電子顕微鏡室	1	18	
	電顕検体処理室	1	10	
	病理組織標本室	1	36	
	蛍光顕微鏡室	1	14	・ 暗室になること
	病理業務室	1	108	
	手術検体切り出し室			
	生検検体作業区域			
	染色室			
	病理検体受付室			
	試薬庫			
	組織薄切室			
	細胞診検査室	1	42	
	病理所見会室			・ ア 外来部門を参照(外来カンファレンス室と共用)
	廊下	1	40	
剖検霊安部門			【350】	
	霊安室	2	40	
	遺体処理室	1	14	
	解剖室	1	45	
	遺体冷温保存室	1	12	
	臓器保存室	1	88	
	試薬室・倉庫	1	22	
	解剖準備室	1	22	
	更衣室・シャワー	2	11	

諸室リスト:放射線部門

区分	名称	設 定		摘要	概要 シート No.
		室数	想定面積 (m ² / (m ²))		
画像診断部					
診断部門(1)			[1,720]		
	一般撮影室(立位専用)	1	13	13	
	一般撮影室A	1	15	15	
	一般撮影室B	1	20	20	
	一般撮影室C	1	32	32	
	乳房撮影室(マンモ)	1	18	18	
	パノラマ撮影室	1	9	9	
	頭部精密撮影室	1	13	13	
	X線テレビ室	2	30	60	
	X線テレビ更衣・処置室	1	29	29	
	X線テレビトイレ・汚物室	1	2	2	
	放射線部カンファレンス室	1	38	38	
	当直・控室	2	8	16	
	シャワー室	1	6	6	・ 当直用
	画像出力・管理室	1	15	15	
	ポータブル格納庫	1	6	6	
診断部門(2)				568	
	CT受付	1	20	20	
	CT室	2	28	57	
	CT注射処置室・CT更衣室	1	33	33	
	CT読影室・NS控え室	1	23	23	
	MR前室 (骨密・パノラマ)	1	32	32	
	オープンMR室	1	45	45	・ 予備室とし、周産期センター地下の機器の更新時期に3台目を入れる。
	第1MR室	1	45	45	
	第2MR室	1	45	45	
	MR受付注射処置室	1	38	38	
	MR,CT合同操作室・解析室	1	121	121	
	非磁性体ストレッチャー入替室	1	20	20	
	MR更衣 小児覚醒室	1	23	23	
	第1MR機械室	1	16	16	
	CTトランス キャリブ材料室	1	11	11	
	オープンMR機械室	1	23	23	
	第2MR機械室	1	14	14	
	CT・MR用トイレ・汚物室、手洗い	1	2	2	
診断部門(3)				732	・ アンギオ室は、清浄度クラスⅢで陽圧とする。
	アンギオ機械室・動画サーバ室	1	32	32	
	レーザー・冷却材料室	1	22	22	
	カテ材料室	1	11	11	
	心臓補助ポンプ・ロータガス室	1	11	11	
	男女更衣室	1	11	11	
	手洗い	1	5	5	
	アンギオ予備バイプレーン室	1	65	65	
	アンギオ4室分全操作室	1	167	167	
	心血管連続撮影室(ハイフレ)	1	54	54	
	脳・腹部血管連続撮影室	1	66	66	
	汎用血管連続撮影室(モノフレ)	1	44	44	
	SPD材料室	2	11	23	
	頭腹カテ後止血室	2	11	23	
	頭腹部CT機械室	1	23	23	
	アンギオ前室 廊下	1	84	84	
	心カテバイプレーン機械室	1	16	16	
	心カテ後止血室	2	11	23	
	相談室	1	6	6	
	重症リカバリ家族説明控室	1	45	45	
	アンギオ用トイレ、汚物室	1	2	2	

諸室リスト:放射線部門

区分	名称	設 定		概要 シート No.
		室数	想定面積 (m ²)	
核医学検査・放射線治療部			[1,000]	
核医学検査部			445	
	体外計測室	2	32 63	
	体外計測操作室	2	14 28	
	放射線管理室	1	34 34	
	更衣室	2	6 12	
	トイレ	2	4 7	
	トイレ(車椅子用)	1	4 4	
	汚染検査室	1	13 13	
	除染室(シャワー)	1	1 1	
	リカバリー室	1	13 13	
	負荷検査室	1	21 21	
	待合室	1	16 16	
	機材保管室	1	11 11	
	処置室	1	14 14	
	準備室	1	11 11	
	貯蔵室	1	5 5	
	廃棄物保管室	1	15 15	
	管理区域外廊下	1	37 37	
	管理区域内廊下	1	73 73	
	管理区域内廊下	1	67 67	
	排気・排水施設			
放射線治療部			575	
	リニアック室1	1	130 130	
	リニアック室2	1	107 107	
	腔内照射室	1	48 48	
	シュミレーター室	1	43 43	
	治療計画室	1	25 25	
	治療操作室1	1	29 29	
	治療操作室2	1	12 12	
	工作室	1	13 13	
	診察室	1	9 9	
	待合室	1	8 8	
	トイレ(車椅子用)	1	4 4	
	受付(核医学・治療)	1	10 10	
	技師控え室	1	20 20	
	管理区域外廊下		117	

諸室リスト:内視鏡部門

区分	名称	設 定		概要	概要 シート No.
		室数	想定面積 (m ² / (m ²))		
内視鏡検査部門				【520】	・ 外来、入院双方の患者動線に配慮する。消化器外来と隣接させることにより消化器ユニット構成とする。
検査部門					
	上部消化管内視鏡室(1)	1	20	20	
	上部消化管内視鏡室(2)	2	12	24	
	下部消化管内視鏡室	2	12	24	・ 臭気対策を行う。
	緊急処置用内視鏡室	1	12	12	
	X線TV室	2	25	50	・ 単独排気とし、うち1室は陰圧調節可能な感染症対応(前室付き)とする。
	患者用トイレ(1)	2	6	12	
	患者用トイレ(2)	1	10	10	・ 多目的トイレ(車椅子への対応を考慮)を設ける。
	患者用トイレ(3)	1	14	14	・ ストレッチャー対応とする。汚物処理に対応できるようにする。
その他					
	受付	1	8	8	
	待合	1	20	20	・ 10人程度
	リカバリー	1	29	29	・ 8人用
	前処置室(上部)	1	14	14	
	前処置室(下部)	1	16	16	
	更衣室	3	6	18	
	洗淨室・器材室	1	28	28	
	操作室	1	14	14	
	読影室兼カンファレンス室	1	45	45	・ 内部を仕切り、がん相談支援室としても利用できるようにする。
	器材室	1	20	20	
	説明室	3	6	18	・ 検査説明用。
	休憩室	2	14	28	・ 医師、看護師用各1室
	スタッフ用トイレ	1	6	6	
	サーバ室	1	10	10	

諸室リスト: 薬剤部門

区分	名称	設 定		概要 シート No.
		室数	想定面積 (m ²)	
薬剤部門			【900】	
	調剤コーナー		181	181
	調剤室(内服、外用)			・ 地下に外来患者(東洋医学、HIV患者等)用の相談窓口を設ける。
	調剤監査コーナー			
	漢方薬調剤室(ドラフト)			・ 一般調剤室と区分し、脱臭装置、ドラフトチャンバーを設置する。
	夜間薬払い出し口			・ 夜間・入院の処方・注射払い出し用の部屋又はパスボックスを設ける。
	注射コーナー		115	115
	注射薬調剤室			・ 製剤部門と薬品庫および注射薬の一本渡しを効率的に実施するため、ピッキング及びセッティングを行うコーナーを設置する。
	注射薬監査コーナー			
	カートブース		90	90
	トレイブース		90	90
	薬品管理コーナー	1	45	45
	廊下		17	17
	抗がん剤調製室	1	68	68
				・ 安全キャビネットを設ける。無菌調製室と隣接させ共通のエアシャワーを設ける。更衣のための前室を設ける。
	無菌調製室	1	45	45
	製剤室(ドラフト)	1	22	22
	その他			
	薬品管理室	1	42	42
	TDM室	1	23	23
	薬品情報室	1	29	29
	マスタ管理室	1	45	45
	宿直室	2	8	16
	シャワー室	1	6	6
	薬剤部長室(麻薬金庫)	1	14	14
	カンファレンスコーナー	1	29	29
	治験薬管理室	1	23	23
	エレベーター	1	6	6
	薬品庫		(適宜)	・ SPD管理の薬品庫を設置する。備蓄医薬品も保管可能な面積を確保する。
	1階			
	患者相談室(1階)	1	6	6
				・ 救急外来付近に設置する。
	患者薬渡し窓口(1階)	1	6	6
				・ 救急外来付近に設置する。

諸室リスト:リハビリテーション部門

区分	名称	設 定		摘 要	概要 シート No.
		室数	想定面積 (㎡/ (㎡)		
リハビリテーション部門				【760】	
	理学療法室				
	機能訓練室	1	326	326	・ 災害用医療ガス設備(酸素、吸引)を設ける。 ・ プラスタートラップを設ける。屋外に出られるようにする。
	物理療法室	1	22	22	
	小児訓練室	1	11	11	
	義肢装具室	1	11	11	
	評価室	1	11	11	
	作業療法室				
	作業療法室	1	91	91	・ 流し台を設置する。
	ADL室	(1)	(11)	(11)	・ 作業療法室内に設置する。畳を使用
	言語療法室				
	個別療法室	2	11	23	・ 遮音仕様とする。
	心疾患リハ専用トレーニング室				
	訓練室	1	159	159	・ 自然採光が得られるよう配慮する。
	その他共用部				
	診察室	2	11	23	
	カンファレンス室	1	34	34	
	技師控室	1	34	34	
	倉庫	1	6	6	・ 松葉杖、車椅子。備付の整理棚を設置
	受付	1	7	7	

諸室リスト:人工透析部門

区分	名称	設 定		摘 要	概要 シート No.
		室数	想定面積		
			(m ² /	(m ²)	
人工透析部門				【770】	
処置室					
	透析室				
	慢性透析	1	373	373	・ 40人分のベッドまたはリクライニングシートを配置する。 ・ 5人分。パーティションなどで仕切る。 うち1室は、陰圧調節可能な感染症対応(前室付き)とする。
	重症透析	5	20	100	
	CAPD室	1	20	20	
	人工透析用機械室	1	35	35	・ 透析液供給装置など設置
その他共用部					
	スタッフステーション	1	45	45	・ ME作業室含む
	患者更衣室	2	13	26	・ 男女別
	患者用トイレ	2	6	12	・ 男女別。車椅子が入れるように。
	患者用手洗いスペース	1	5	5	・ 入り口近くに確保。ロビーなどオープンなスペースの壁に設置しても可。
	倉庫	1	20	20	・ 透析回路、ダイアライザー、血液浄化機器を収納。
	薬液準備室	1	9	9	
	説明室	1	11	11	
	洗浄作業室	1	9	9	
	保守管理室	1	11	11	・ 機械室に隣接して設置。(機械室の面積に加え、内部を仕切るようにしても可)
	スタッフ用更衣室	2	11	22	・ 男女別、血液汚染時などに使用
	医師・ME技師控室	1	22	22	
	仮眠室	1	8	8	
	看護長室(師長室)	1	6	6	
	看護師休憩室	1	22	22	
	シャワールーム	1	7	7	

諸室リスト: 東洋医学部門

区分	名称	設 定		概要 シート No.
		室数	想定面積 (m ²)	
東洋医学			【300】	・ 臭気が他のエリアに漏れないよう配慮する。
	外来診療部			
	漢方診察室	2	22 43	
	受付・事務	1	22 22	
	患者待合室・閲覧室	1	43 43	
	鍼灸治療室	4	15 61	
	資料室	1	29 29	
	研修室	1	22 22	
	スタッフ控室	1	22 22	
	図書室	1	23 23	

諸室リスト: 栄養給食部門

区分	名称	設 定		摘 要	概 要 シ ー ト No.
		室数	想 定 面 積		
			(㎡/	(㎡)	
給食部				【1,100】	
	厨房				
	厨房	1	700	700	・ オール電化とする。
	給食事務室	1	45	45	
	調乳室	1	25	25	
	休憩室	1	25	25	・ 更衣室へ入室できるよう配置する。
	検収室	1	45	45	
	倉庫	1	45	45	
	食品庫A	1	45	45	
	食品庫B	1	23	23	
	一時保管庫	1	23	23	
	更衣室	2	23	46	・ 男女別に設ける。
	トイレ	2	23	46	・ 男女別に設ける。更衣室から入室できるよう配置する。
	下膳スペース	1	36	36	
栄養部					
	栄養部				
	個別栄養指導室				・ ア 外来部門を参照
	集団栄養指導室				・ ア 外来部門を参照

諸室リスト: 中央材料部門

区分	名称	設 定			概要	概要 シート No.
		室数	想定面積			
			(m ²)	(m ²)		
中央材料部				【600】		
作業室						
	前室	1	18	18	・ 滅菌器材の受付、払出し業務を行う。	
	洗浄室/組立室	1	315	315	・ 院内で発生する滅菌器材の1次洗浄から消毒、組立までを行う。手術部回収用エレベーターに隣接。洗浄室と組立室は間仕切、扉で仕切る。	
	オートクレーブ・EOGガス	1	39	39	・ 組立後の蒸気滅菌、ガス滅菌を行う。	
	既滅菌保管室	1	143	143	・ 滅菌処理後の材料の保管および払出しを行う。手術部供給用エレベーターに隣接させる。	
その他						
	更衣室	1	12	12		
	事務室	1	22	22		
	休憩室			(適宜)	・ 休憩室等を確保し、労働環境に配慮する。	
	器材室	1	11	11		
	リネン室	1	20	20		
	運び出し口	1	12	12		

諸室リスト:ME管理部門

区分	名称	設 定			摘 要	概要 シート No.
		室数	想定面積			
			(㎡/	㎡)		
手術部門等						
	ME管理室	1	77	77	・ 人工呼吸器、医療ガス、輸液ポンプ等の機器を保管し臨床工学技士による保守・整備を行う。	
	ME技師控室	1	30	30		
人工透析部門						
	スタッフステーション				・ シ 人工透析部門を参照	
	医師・ME技師控室				・ シ 人工透析部門を参照	

諸室リスト: 管理運営部門

区分	名称	設 定		概要	概要 シート No.
		室数	想定面積 (㎡/ (㎡)		
管理運営部門					
幹部ゾーン					
	院長室	1	39	39	・ 3号館に配置する。
	事務局長室	1	37	37	・ 3号館7階
	副院長室	3	28	83	・ 3号館7階
	救命救急センター長室	1	26	26	・ 3号館7階
	総合周産期母子医療センター長室	1	26	26	・ 3号館7階
	管理医局長室	1	26	26	・ 3号館7階
	看護部長室	1	37	37	・ 3号館6階
	企画調査監室	1	26	26	・ 3号館7階
事務ゾーン					
	総務課、経営企画室、医事課(調達)	1	184	184	・ 3号館6階
	医事課(入院医事、外来医事)	1	249	249	・ 1号館
	医療安全管理部	1	55	55	・ 3号館6階
会議・研修ゾーン					
	中会議室	1	37	37	・ 適宜、部屋を隣接させ、一体的に使用できるような設計とする。
	中会議室	2	39	78	・ 3号館5階
	大会議室(1)	1	68	68	・ 3号館7階
	大会議室(2)	1	65	65	・ 3号館5階
	講堂	1	480	480	・ 3号館1階
	応接室	1	35	35	・ 3号館7階
	OA研修室				・ 医療情報部門を参照
更衣室					
	医師更衣室				・ 医局を参照、1号館
	医療技術職更衣室(男)	1	132	132	・ 3号館2階 トイレ、シャワー室を含む
	医療技術職更衣室(女)	1	428	428	・ 3号館2階 トイレ、シャワー室を含む。洗面台(パウダールーム)を設ける。
	リフレッシュラウンジ	1	33	33	・ 3号館2階
学生関連					
	院外研修生更衣室(男)	1	51	51	・ 3号館3階
	院外研修生更衣室(女)	1	77	77	・ 3号館3階
	看護学生指導教官控室	1	26	26	・ 3号館3階
	愛媛大学学生実習室	1	157	157	・ 3号館3階
	県立医技大学生実習控室	1	81	81	・ 3号館3階
	助産科学生控室	1	26	26	・ 3号館3階
その他					
	職員食堂	1	172	172	・ 3号館1階
	各種教室	1	79	79	・ 3号館1階
	ホランテア控室	1	66	66	・ 3号館1階
	治験コーディネーター室・相談室	1	54	54	・ 3号館3階
	電話交換室	1	23	23	・ 1号館4階
	防災センター				・ ウ 救命救急センターを参照
	中央監視室	1		(適宜)	・ 1号館
	医事課・防災当直室				・ ウ 救命救急センターを参照
	建築指導員室	1	19	19	・ 3号館6階
	委託業者控室	1			・ 3号館4階
	廃棄物保管庫	3	32	96	
	倉庫	1	66	66	・ 3号館1階講堂奥
	災害用備蓄倉庫	1	270	270	・ 1号館地階
	コインロッカー	1	45	45	・ 外来患者用

諸室リスト: 人間ドック部門

区分	名称	設 定			概要	概要 シート No.
		室数	想定面積			
			(㎡/	(㎡)		
人間ドック部門				【610】		
検査・診察部門						
	X線TV	1	29	29		
	読影室・操作室	1	25	25		
	胸部撮影室	1	14	14		
	心電図検査室	1	23	23		
	腹部超音波室	1	23	23		
	肺機能検査室・聴力検査室	1	23	23		
	眼圧・眼底検査室	1	23	23		
	採尿室・トイレ	2	23	46	・ 男女別に設ける。車椅子での利用に配慮する。	
	計測・採血室	1	45	45		
	婦人科検査・内診	1	23	23		
	診察室	2	11	23		
	更衣室	2	23	45		
	栄養指導室	1	12	12		
その他						
	待合ホール	1	45	45		
	受付・事務室	1	45	45		
	健診ホール	1	68	68		

諸室リスト:医療情報部門

区分	名称	設 定			摘 要	概要 シート No.
		室数	想定面積			
			(㎡/	(㎡)		
医療情報部門				【400】		
	医療情報部					
	サーバー室	1	132	132		
	電子カルテ運用管理室	1	43	43	・ システム保守担当者2名程度が24時間常駐	
	ネットワーク運用管理室				・ 電子カルテ運用管理室と同室可	
	診療情報病歴室	1	89	89	・ 15名程度の職員が勤務するスペース。カルテ閲覧室を含む。	
	その他					
	OA研修室	1	132	132	・ 3号館3階	

諸室リスト:医局部門

区分	名称	設 定		摘 要	概 要 シ ー ト No.
		室数	想 定 面 積 (m ² / (m ²))		
医局				[2,100]	
1号館					
	医師室	1	1,077	1,077	・ 医師200名分の大部屋方式とし1号館に設ける。ローパーティションによる仕切りを設ける。
	OA室	1	45	45	
	カンファレンス・会議室	1	130	130	
	ラウンジ	1	65	65	・ 自動販売機の設置スペースを設ける。
	面談室	3	12	36	
	仮眠室	20	8	160	
	シャワー室	4	6	24	
	更衣室(男)	1	144	144	
	更衣室(女)	1	114	114	
	トイレ			(適宜)	
	図書室	1	113	113	・ コメディカルを含む職員全員が利用できるものとする。
	閲覧室	1	90	90	・ 図書室に隣接して設ける。
3号館					
	研修医室	1	148	148	・ 3号館5階。 大部屋方式とする。
	カンファレンス室	1	69	69	・ 3号館5階
	研修医仮眠室	5	8	40	・ 3号館5階
	研修医シャワー室	2	6	12	・ 3号館5階

諸室リスト:看護管理部門

区分	名称	設 定			摘 要	概要 シート No.
		室数	想定面積			
			(㎡)	(㎡)		
看護管理部門						
	看護部長室				・ 子 管理運営部門を参照	
	看護部管理室	1	37	37		
	看護研修指導室	1	19	19		

諸室リスト: 物品管理部門

区分	名称	設 定			摘 要	概要 シート No.
		室数	想定面積			
			(㎡/	(㎡)		
物品管理部門				【350】		
	物品管理室					
	倉庫	1	294	294	・ 2段式倉庫も可とする。	
	薬品保冷室	1	29	29	・ 物品管理部門の管理とする。	
	事務室	1	23	23		
ベッドステーション・リネンステーション					・ 院内で使用するベッド、マットレス、リネン類を管理する。	
	ベッドステーション・リネンステーション	1	90	90	・ 1号館地下中1階に設ける。	

諸室リスト:利便施設

区分	名称	設 定		摘 要	概要 シート No.	
		室数	想定面積			
			(m ²)			(m ²)
利便施設						
	レストラン	1		(適宜)		
	コンビニ	1		(適宜)		
	銀行	1	45	45	・ 1号館1階	
	ATMコーナー	1	23	23	・ 1号館1階	
	理美容店	1		(適宜)		